



福岡医発第1347号(地)

平成18年10月13日

各 医 師 会 長 殿



福岡県医師会
会長 横倉 義武



第20回日本エイズ学会シンポジウム及び
第10回HIV/AIDS在宅療養支援研修会について

標記研修会につきまして、別添のとおり福岡県保健福祉部より案内がありましたので、貴会管下会員への周知方よろしくご高配のほどお願い申し上げます。

なお、参加の申込み、問い合わせ等につきましては、直接国立国際医療センターエイズ治療・研究開発センター（別添申込書参照）へご連絡くださいますようお願い申し上げます。

記

国立国際医療センター
(看護支援調整官 島田)

TEL 03-5273-5418
FAX 03-3208-4244

小郡三井医師会より

担当理事 永田正和



「公印省略」

18健第2774号
平成18年10月11日

福岡県医師会長 殿

福岡県保健福祉部長
(健康対策課結核感染症係)

第20回日本エイズ学会シンポジウム及び第10回HIV/AIDS
在宅療養支援研修会の開催について

平素よりエイズ対策の円滑な実施にあたりまして、格別の御配慮をいただき厚くお礼申し上げます。

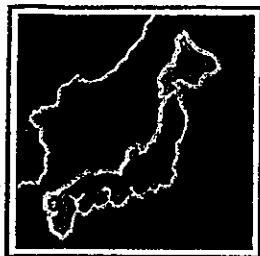
さて、標記学会及び研修会の開催について、国立国際医療センターから別添のとおり案内がありましたので、お知らせいたします。

つきましては、貴会員への周知につきまして、御協力いただきますようお願いいたします。

なお、エイズ拠点病院等（協力病院を含む）には、直接通知していることを申し添えます。

また、申し込み等については、国立国際医療センター（別添：申込書参照）に御連絡くださいますようお願いいたします。





第20回日本エイズ学会シンポジウム

看護ネットワークを活用した HIV/AIDSケアの可能性

12月2日(土)15:40~17:40

日本教育会館8F 第一会議室



日本教育会館

- 地下鉄都営新宿線・営団半蔵門線神保町駅(A1出口)下車徒歩3分
- 地下鉄都営三田線神保町駅(A8出口)下車徒歩5分
- 地下鉄都営東西線竹橋駅(北の丸公園側出口)下車徒歩5分
- 地下鉄都営東西線九段下駅(6番出口)下車徒歩7分
- JR総武線水道橋駅(西口出口)下車徒歩15分

司会: 村上未知子(東京大学医科学研究所付属病院 コーディネーターナース)

織田幸子(NHO大阪医療センター HIV看護専門職)



演題

1. 政策医療におけるACC/ブロック拠点病院の看護ネットワーク

島田 恵(国立国際医療センター エイズ治療・研究開発センター 看護支援調整官)

2. HIV/AIDS看護学会(JANAC)の活動と課題

有馬美奈(東京都保健医療公社 荏原病院 看護主任)

3. エイズ拠点病院におけるHIV/AIDS外来指導の現状と課題

徐 廷美(東京大学医学部 健康科学科4年)

4. 外来診療において看護師に期待する役割

加藤哲朗(東京慈恵会医科大学付属病院 感染制御部 医師)



対象

主に拠点病院のHIV/AIDS担当看護師または「HIV/AIDSケア」「慢性疾患看護」「継続看護」に関心のある看護師、保健師、助産師、看護学生 140名まで



学会参加登録料

一般:10,000円 学生:5,000円(当日会場でお支払い下さい)

※このシンポジウムは、平成18年度看護政策研究事業委託研究「HIV/AIDS患者に対する外来療養指導の効果に関する研究」の一環であり、平成18年度ACC/ブロック拠点病院看護実務担当者会議も兼ねています。

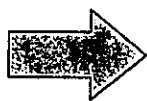
申し込み方法等裏面

HIV/AIDS患者は若く、今後、感染者としていかに治療と生活を両立させていくかが課題である。感染者としての道程には、進学、就職、結婚などの様々なライフイベントが待ち受けており、それに伴って生活の場も変わる可能性がある。治療や生活の変化に伴って、専門病院だけでなく、地域の様々な支援を利用する可能性もある。このように慢性疾患の患者を支える場合には、長い時間の経過と共に起こりうる様々な変化に対応しつつ、必要な医療を提供し続けられる環境としての体制が必要である。このような環境を作るために、患者に継続的に関わって、変化の様子も見守りつつ、次の場所や相手につなげていく役割が“要”となる。このシンポジウムでは、病院に必ずいる職種である「看護師」が慢性疾患患者として長い道のりをゆく患者の伴走者となり、継続的に医療を提供する体制を機能させるための“要”となる可能性、その役割を果たすことによってHIV/AIDSケアを充実させる可能性について考えたい。

日本看護協会員または看護系大学・大学院生で、本シンポジウムに参加ご希望の方は、下記要領で事前申し込み頂きますと、学会参加登録料を割引いたします。

一般：通常10,000円

学生：通常 5,000円



事前申し込み 5,000円

事前申し込み 2,000円

<事前申し込み>

●「看護ネットワークのシンポジウムに参加希望」と明記の上、参加希望者お一人ずつのお名前、所属(病院名または学校名)、職域(看護師、保健師、助産師)、日本看護協会会員番号または学生番号、連絡先(「事前申し込み者パス」送付先住所、電話番号、FAXまたはe-mail)を書いて、下記にFAXして下さい。

国立国際医療センター エイズ治療・研究開発センター(ACC)
ケア支援室 二井／島田 宛 FAX:03-3208-4244

●FAX受領後、「シンポジウム事前申し込み者パス」をお送りします。当日はそのパスを参加登録受付に渡し、5,000円(または2,000円)を払って下さい。

●事前申し込み〆切り：平成18年11月24日(金)17:00

※当日パスを持参されない場合は、通常料金を払っていただきます

当日は本シンポジウムの他、AMには看護系の演題発表、PMにはスキルズビルディング(針刺し予防)、シンポジウム(セクシャルヘルス支援)が続きます！

平成18年度厚生労働科学研究費(エイズ対策研究推進事業)
研究成果等普及啓発事業

HIV医療包括ケア体制の整備に関する研究(コーディネーターナースの立場から)成果発表会

HIV/AIDS専門医療機関と地域との より良い連携に向けて

(第10回HIV/AIDS在宅療養支援研修会)

日 時: 平成 **18** 年 **12** 月 **8** (金)
17:30~20:30
(開場・受付17:00~)

場 所: 都民ホール 参加無料

司会進行: 山中 京子
島田 恵

大阪府立大学 社会福祉学部 助教授

国立国際医療センター エイズ治療・研究開発センター
看護支援調整官

1. 地域における HIV/AIDS患者の受け入れの現状と課題

石川 雅子 千葉県派遣カウンセラー

2. 病院ー地域連携事例の検討

- 1) 療養の確立に向けて 居住支援とセルフケア支援を要する患者の在宅療養支援
- 2) 療養の長期化に向けて CMV脳髄炎後の患者に対する在宅療養支援

3. まとめ

野原 永子 東京都福祉保健局健康安全室 エイズ・新興感染症対策担当 副参事

主催: 財団法人 エイズ予防財団 共催: 東京都

照会先 国立国際医療センター エイズ治療・研究開発センター
看護支援調整官 島田 恵

電話 : 03-5273-5418

FAX : 03-3208-4244

お申し込みは、裏面FAX用紙をご使用下さい。

平成18年12月1日(金) 17:00 締め切りです

FAX

HIV/AIDS在宅療養支援研修会 参加申込書

平成18年度厚生労働科学研究費（エイズ対策研究推進事業）研究成果等普及啓発事業
HIV医療包括ケア体制の整備に関する研究（コーディネーターナースの立場から）成果発表
(第10回 HIV/AIDS在宅療養支援研修会)

主催：(財)エイズ予防財団

宛先	国立国際医療センター エイズ治療・研究開発センター
受信者名	^{ふたい} 二井 (ケア支援室)

施設名	
所属部署	
発信者名	
参加者名	
職種	
連絡先	TEL FAX
発信日時	平成18年 月 日

通信文

〆切 2006年12月1日(金) 17:00